(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第3782498号
(P3782498)
(45)発行日　平成18年6月7日(2006.6.7)　(24)登録日　平成18年3月17日(2006.3.17)

(51)Int.Cl.　　F I
G03B 17/18 (2006.01)　　G03B 17/18
G03B 17/02 (2006.01)　　G03B 17/02

請求項の数 9　(全 10 頁)

(21)出願番号　特願平8-19295
(22)出願日　平成8年1月11日(1996.1.11)
(65)公開番号　特開平9-197532
(43)公開日　平成9年7月31日(1997.7.31)
審査請求日　平成14年12月12日(2002.12.12)

前置審査

(73)特許権者　000001007
キヤノン株式会社
東京都大田区下丸子３丁目３０番２号
(74)代理人　100125254
弁理士　別役　重尚
(74)代理人　100118278
弁理士　村松　聡
(74)代理人　100138922
弁理士　後藤　夏紀
(74)代理人　100136858
弁理士　池田　浩
(74)代理人　100135633
弁理士　二宮　浩康
(74)代理人　100081880
弁理士　渡部　敏彦

最終頁に続く

(54)【発明の名称】撮像装置

(57)【特許請求の範囲】

【請求項１】

所定の操作スイッチに使用者が選択した機能を設定する撮像装置であって、

使用者が前記操作スイッチに設定した機能であって使用者が前記操作スイッチを操作することにより実行される機能を示す値を保持する保持手段と、

前記撮像装置の電源がオンになった後、前記操作スイッチに設定されている機能を前記保持手段が保持する値を用いて判別する判別手段と、

前記撮像装置の電源がオンになった後であって、使用者が前記操作スイッチに設定されている機能を変更する前に、前記操作スイッチに設定されている機能を表す情報を表示する表示手段とを有することを特徴とする撮像装置。

【請求項２】

所定の操作スイッチに使用者が選択した機能を設定する撮像装置であって、

使用者が前記操作スイッチに設定した機能であって使用者が前記操作スイッチを操作することにより実行される機能を示す値を保持する保持手段と、

前記撮像装置の電源がオンになった後、前記操作スイッチに設定されている機能を前記保持手段が保持する値を用いて判別する判別手段と、

前記撮像装置の電源がオンになった後であって、使用者が前記操作スイッチに設定されている機能を実行する前に、前記操作スイッチに設定されている機能を表す情報を表示する表示手段とを有することを特徴とする撮像装置。

【請求項３】

前記表示手段は、撮像手段によって撮像された映像を表示する表示手段であることを特徴とする請求項１又は２に記載の撮像装置。
【請求項４】
前記操作スイッチに設定される機能は、焦点の調節に関する機能を含むことを特徴とする請求項１、２又は３に記載の撮像装置。
【請求項５】
前記操作スイッチに設定される機能は、シャッタに関する機能を含むことを特徴とする請求項１、２、３又は４に記載の撮像装置。
【請求項６】
前記操作スイッチに設定される機能は、フェードイン及びフォードアウトに関する機能を含むことを特徴とする請求項１から５のいずれかに記載の撮像装置。
【請求項７】
前記操作スイッチに設定される機能は、絞りの調節に関する機能を含むことを特徴とする請求項１から６のいずれかに記載の撮像装置。
【請求項８】
前記操作スイッチに設定される機能は、再生、早送り、巻戻し、停止又は録画に関する機能を含むことを特徴とする請求項１から７のいずれかに記載の撮像装置。
【請求項９】
前記表示手段は、前記操作スイッチに設定されている機能を表す情報を所定時間のみ表示することを特徴とする請求項１から８のいずれかに記載の撮像装置。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は、所定の操作スイッチに使用者が選択した機能を設定する撮像装置に関する。
【０００２】
【従来の技術】
一般に、ビデオカメラなどにおいては、焦点合せ（自動、手動）機能、露出機能、録画、再生、早送り、巻戻し、停止などの複数の操作機能が設けられているが、各操作機能毎に操作スイッチを設けると、操作スイッチの数が多くなり、ひいてはビデオカメラ本体が大型化することになる。
【０００３】
近年、半導体技術の飛躍的な進歩に伴いビデオカメラの各構成部品の小型化が促進されるとともに、ビデオカメラの小型、軽量化が図られている。
【０００４】
しかし、ビデオカメラ本体の小型、軽量化とともに、搭載されている操作機能の数が増し、その機能に対する操作スイッチの数が多くなり、その結果、機能に対する操作スイッチの数の多さによってビデオカメラ本体の小型、軽量化が制限されることがある。
【０００５】
操作スイッチの数の多さによるビデオカメラの小型、軽量化の制限を解消するために、複数の操作機能の中から撮影者が指定した操作機能を選択し、その選択した操作機能を所定の操作スイッチに設定する機能設定手段を有するビデオカメラが出現している。この機能設定手段を設けることによって、搭載する各操作機能毎にその操作スイッチを設ける必要がなくなり、各操作機能に対する操作スイッチの数を減らすことができる。
【０００６】
【発明が解決しようとする課題】
上述の機能設定手段で指定した操作機能を所定の操作スイッチに設定すると、その操作スイッチを操作することによって、その操作スイッチに設定された操作機能を実行することができるが、その操作スイッチへの操作機能の設定、その操作スイッチに設定されている操作機能の変更、解除などを行う毎に、その操作スイッチに設定されている現在の機能を常に把握しておく必要がある。

【０００７】
しかし、操作スイッチに設定する機能の変更などが度重ねて行われると、撮影者は、操作スイッチに所望の機能と異なる機能が設定されいるにもかかわらず、所望の機能が設定されていると勘違いすることがあり、所望の機能動作を得られないことがある。
【０００８】
また、撮影者が操作スイッチに所望の操作機能と異なる機能が設定されていることに気付くと、再度所望の操作機能を操作スイッチに設定するための操作を行う必要がある。
【０００９】
このように、従来のビデオカメラでは、撮影者が操作スイッチにどの操作機能が設定されているかを把握していないと、所望の機能動作が得られないことがあるとともに、操作機能の設定のやり直しを行う必要があり、操作スイッチに設定されている現在の機能がどの機能であるかを事前に確認することはできない。
【００１０】
そこで、本発明は、所定の操作スイッチに設定された機能をその操作スイッチに設定された機能を変更する前に又はその操作スイッチに設定された機能を実行する前に使用者に通知することができるようにすることを目的とする。
【００１１】
【課題を解決するための手段】
本発明の撮像装置の一つは、所定の操作スイッチに使用者が選択した機能を設定する撮像装置であって、使用者が前記操作スイッチに設定した機能であって使用者が前記操作スイッチを操作することにより実行される機能を示す値を保持する保持手段と、前記撮像装置の電源がオンになった後、前記操作スイッチに設定されている機能を前記保持手段が保持する値を用いて判別する判別手段と、前記撮像装置の電源がオンになった後であって、使用者が前記操作スイッチに設定されている機能を変更する前に、前記操作スイッチに設定されている機能を表す情報を表示する表示手段とを有することを特徴とする。
また、本発明の撮像装置の他の一つは、所定の操作スイッチに使用者が選択した機能を設定する撮像装置であって、使用者が前記操作スイッチに設定した機能であって使用者が前記操作スイッチを操作することにより実行される機能を示す値を保持する保持手段と、前記撮像装置の電源がオンになった後、前記操作スイッチに設定されている機能を前記保持手段が保持する値を用いて判別する判別手段と、前記撮像装置の電源がオンになった後であって、使用者が前記操作スイッチに設定されている機能を実行する前に、前記操作スイッチに設定されている機能を表す情報を表示する表示手段とを有することを特徴とする。
【００１９】
【発明の実施の形態】
以下に、本発明の実施の形態について図を参照しながら説明する。
【００２０】
図１は本発明のカメラの実施の一形態を構成するビデオカメラの構成を示すブロック図である。
【００２１】
ビデオカメラは、図１に示すように、被写体像を撮像する撮像部１を備える。撮像部１は、被写体像を捕らえる光学レンズ群と、その光学レンズ群における合焦動作、ズーム動作および絞り調節動作を行うための駆動機構と、その光学レンズ群が捕らえた被写体像を光電変換によって撮像信号１ａに変換する固体撮像素子（ＣＣＤ）とを有し、撮像信号１ａは映像処理部２に出力される。
【００２２】
映像処理部２には、撮像信号１ａとともに文字信号発生部４から出力された文字信号４ａが与えられ、文字信号４ａは、後述するように、日時などの撮影データ、操作機能スイッチに設定されている操作機能に関する確認情報などを含む信号からなる。映像処理部２は、映像信号を磁気テープなどの記録媒体に記録する記録動作と、記録媒体から映像信号を

再生する再生動作とを行う。

【００２３】

記録動作では、撮像部１からの撮像信号１ａと文字信号発生部４からの文字信号４ａとに所定の処理を施し、操作機能に関する確認情報が取り除かれた文字信号４ａを撮像信号１ａに重ね合わせた映像信号を生成し、その映像信号を記録媒体に記録するとともに、モニタ用映像信号２ａを生成する。このモニタ用映像信号２ａは、撮像信号１ａに文字信号４ａを重ね合わせた信号からなり、この信号はファインダ部３に出力される。

【００２４】

これに対し、再生動作では、記録媒体から映像信号を再生し、外部のモニタなどに出力するとともに、その映像信号に文字信号４ａを重ね合わせた映像信号をモニタ用映像信号２ａとしてファインダ部３に出力する。

【００２５】

ファインダ部３は、エレクトリカルビューファインダからなり、このファインダの表示画面にはモニタ用映像信号２ａが示す映像が映し出される。

【００２６】

文字信号４ａを出力する文字信号発生部４は、制御部５から与えらえたデータ５ａを示す文字信号４ａを生成し、この文字信号４ａは、上述したように、映像処理部２に出力される。

【００２７】

制御部５は、装置全体のシステム制御を司るとともに、指示された操作機能に対応する各部の制御を行う。この操作機能には、自動焦点調節機能、手動焦点調節機能、シャッタ機能、フェードイン／アウト、バックライトコントロール、再生、早送り、巻戻し、停止、録画などの各機能が含まれている。これらの操作機能の中の所定の操作機能は機能操作スイッチＳＷ１に設定され、この機能操作スイッチＳＷ１の押下によってその操作機能による動作が制御される。なお、再生、早送り、巻戻し、停止、録画の各操作機能は機能操作スイッチＳＷ１に設定することによって実行されるとともに、機能操作スイッチＳＷ１とは独立してこれらの操作機能に対応して設けられている各操作スイッチ（図示せず）の操作によって各操作機能の実行が可能なように設定されている。

【００２８】

機能操作スイッチＳＷ１への所定の操作機能の設定は、設定スイッチＳＷ２による機能設定処理で行われ、この機能設定処理は、撮影者による設定スイッチＳＷ２の押下操作に応じて指定された操作機能を複数の操作機能の中から選択し、その選択した操作機能を機能操作スイッチＳＷ１に設定するように制御部５で実行される。具体的には、設定スイッチＳＷ２が押下されると、現時点における設定スイッチＳＷ２の押下操作回数の累積値（ＫＥＹＳＥＬ）が算出され、その累積値（ＫＥＹＳＥＬ）に対応付けられた操作機能が機能操作スイッチＳＷ１に設定される。累積値（ＫＥＹＳＥＬ）は制御部５内のメモリに保持される。

【００２９】

操作機能スイッチＳＷ１に設定された操作機能は、設定操作機能表示処理によってファインダ部３の表示画面に表示される。この設定操作機能表示処理には、通常時表示処理と初期時表示処理とが含まれている。

【００３０】

通常時表示処理では、機能操作スイッチＳＷ１に設定されている操作機能に関する確認情報を文字信号発生部４および映像処理部２を経てファインダ部３に供給し、その確認情報を操作機能スイッチＳＷ１の操作状態に応じて表示形態を変えながらファインダ部３の表示画面に表示するように制御する。この通常時表示処理は、表示選択スイッチＳＷ３のオン、オフに応じて実行される。例えば、表示選択スイッチＳＷ３がオンされていると、通常時表示処理が実行され、表示選択スイッチＳＷ３がオフされていると、通常時表示処理が実行されず、機能操作スイッチＳＷ１に設定されている操作機能に関する確認情報はファインダ部３に表示されない。

【００３１】
これに対し、初期時表示処理では、電源投入時に、機能操作スイッチＳＷ１に設定された機能に関する確認情報を所定時間（例えば数秒間）ファインダ部３の表示画面に表示するように制御する。初期時表示処理の実行後、通常時表示処理を含む機能設定処理への移行が行われる。
【００３２】
次に、設定スイッチＳＷ２の押下操作回数の累積値（ＫＥＹＳＥＬ）と操作機能との対応関係を図２を参照しながら説明する。図２は図１のビデオカメラにおける設定スイッチＳＷ２の押下操作回数の累積値（ＫＥＹＳＥＬ）と操作機能との対応関係を示す図である。
【００３３】
本実施の形態では、図２に示すように、機能操作スイッチＳＷ１に設定される操作機能として手動焦点合せ（Ｍ．ＦＯＣＵＳ）、シャッタ（ＳＨＵＴＴＥＲ）、フェードイン／アウト（ＦＡＤＥ）、バックライトコントロール（ＢＬＣ）、再生（ＰＬＡＹ）、早送り（ＦＦ）、巻戻し（ＲＥＷ）、停止（ＳＴＯＰ）、録画（ＲＥＣ）があり、各操作機能に０から８までの累積値（ＫＥＹＳＥＬ）にそれぞれ対応付けられている。
【００３４】
この手動焦点合せ（Ｍ．ＦＯＣＵＳ）が機能操作スイッチＳＷ１に設定されているとき、手動焦点合せ（Ｍ．ＦＯＣＵＳ）の設定に伴い自動焦点調節機能（Ａ．ＦＯＣＵＳ）が解除され、機能操作スイッチＳＷ１の押下（オン）されている間手動焦点合せの操作が可能になる。機能操作スイッチＳＷ１がオフされると、現在の焦点状態が保持される。
【００３５】
シャッタ（ＳＨＵＴＴＥＲ）が機能操作スイッチＳＷ１に設定されているとき、機能操作スイッチＳＷ１が押下される毎に撮像部１のＣＣＤの電荷の掃出し速度が所定の速度範囲内を循環しながら段階的に変更される。
【００３６】
フェードイン／アウト（ＦＡＤＥ）が機能操作スイッチＳＷ１に設定されているとき、機能操作スイッチＳＷ１の押下される毎にフェードイン、フェードアウト操作が切り換えられて実行される。
【００３７】
バックライトコントロール（ＢＬＣ）が機能操作スイッチＳＷ１に設定されているとき、自動絞り調節機能が解除され、機能操作スイッチＳＷ１の押下に伴い絞りが段階的に調整可能になる。
【００３８】
再生（ＰＬＡＹ）、早送り（ＦＦ）、巻戻し（ＲＥＷ）、停止（ＳＴＯＰ）、録画（ＲＥＣ）の各操作機能が機能操作スイッチＳＷ１に設定されているとき、機能操作スイッチＳＷ１の押下に伴い対応する操作機能による動作が実行される例えば、再生（ＰＬＡＹ）の操作機能が機能操作スイッチＳＷ１に設定されているとき、機能操作スイッチＳＷ１の押下によって、再生動作が開始される。
【００３９】
次に、上述の機能設定処理について図３ないし図６を参照しながら説明する。図３は図１のビデオカメラにおける初期時表示処理および機能設定処理を示すフローチャート、図４は図３の初期時表示処理を示すフローチャート、図５は図３の通常時表示処理を含む機能設定処理を示すフローチャート、図６は図１のビデオカメラのファインダ部３における機能操作スイッチＳＷ１に設定された操作機能に関する確認情報の表示例を示す図である。
【００４０】
電源がオンされると、図３を参照するに、まず、初期時表示処理が実行される（ステップＳ１１）。この初期時表示処理では、機能操作スイッチＳＷ１に設定された機能に関する確認情報を所定時間ファインダ部３の表示画面に表示する。なお、この初期時表示処理の詳細については後述する。
【００４１】

初期時表示処理の実行後、通常時表示処理を含む機能設定処理が実行される（ステップＳ１２）。この通常時表示処理を含む機能設定処理については後述する。

【００４２】

次いで、電源がオフされたか否かの判定が行われ（ステップＳ１３）、電源オンの状態であると、処理は再びステップＳ１２から繰り返される。電源がオフされると、処理は終了する。

【００４３】

次に、初期時表示処理について図４を参照しながら説明する。

【００４４】

電源オンに伴い初期表示処理（ステップＳ１１）が実行されると、図４に示すように、ＫＥＹＳＥＬの値（設定スイッチＳＷ２の押下操作回数の累積値）が内部メモリから読み出される（ステップＳ２１）。

【００４５】

次いで、読み出されたＫＥＹＳＥＬの値に基づき機能操作スイッチＳＷ１に設定されている操作機能の判別が行われ（ステップＳ２２）、その判別された操作機能に関する確認情報が生成され、所定時間ファインダ部３の表示画面に表示される。

【００４６】

次に、初期時表示処理終了後に移行する通常時表示処理を含む機能設定処理について図５を参照しながら説明する。

【００４７】

初期時表示処理終了に伴い通常時表示処理を含む機能設定処理が実行されると、図５に示すように、まず、設定スイッチＳＷ２がオンであるか否かの判定が行われ（ステップＳ３１）、設定スイッチＳＷ２がオンであると、ＫＥＹＳＥＬの値が「８」に等しいか否かの判定が行われ（ステップＳ３９）、その判定の結果に応じてＫＥＹＳＥＬの値の更新が行われる。具体的には、ＫＥＹＳＥＬの値が「８」でないと、ＫＥＹＳＥＬの値が「１」インクリメントされ（ステップＳ４０）、ＫＥＹＳＥＬの値が「８」に等しいと、ＫＥＹＳＥＬの値は「０」に戻される（ステップＳ４１）。

【００４８】

ＫＥＹＳＥＬの値の更新後、その更新されたＫＥＹＳＥＬの値に対応する操作機能が機能操作スイッチＳＷ１に設定され（ステップＳ４２）、処理はステップＳ１３（図３に示す）に移行する。

【００４９】

このように操作機能設定処理では、設定スイッチＳＷ２のオンされる（押下される）毎にＫＥＹＳＥＬの値が更新され、この更新されたＫＥＹＳＥＬの値に応じて対応する操作機能が機能操作スイッチ１に設定される。

【００５０】

次に、設定スイッチＳＷ２がオフであると（ステップＳ３１）、機能操作スイッチＳＷ１がオンであるか否かの判定が行われる（ステップＳ３２）。

【００５１】

機能操作スイッチＳＷ１がオンであると、現在機能操作スイッチＳＷ１に設定されている操作機能の判別がＫＥＹＳＥＬの値に基づき行われ、その操作機能が実行される（ステップＳ３３）。

【００５２】

次いで、表示選択スイッチＳＷ３がオンであるか否かの判定が行われ（ステップＳ３４）、表示選択スイッチＳＷ３がオフであれば、処理はステップＳ１３（図３に示す）に移行する。

【００５３】

表示選択スイッチＳＷ３がオンであれば（ステップＳ３４）、機能操作スイッチＳＷ１に設定されている操作機能に関する確認情報が生成され、その確認情報は機能操作スイッチＳＷ１のオン状態に対応した表示形態でファインダ部３の表示画面に表示される（ステッ

プＳ３５）。
【００５４】
この機能操作スイッチＳＷ１のオン状態に対応した表示形態としては、反転表示が行われる。例えば、機能操作スイッチＳＷ１に設定されている操作機能が手動焦点合せ（Ｍ．ＦＯＣＵＳ）であると、図６（ａ）に示すように、ファインダ部３の表示画面には機能操作スイッチＳＷ１に設定された操作機能に関する確認情報として「ＳＷ１：Ｍ．ＦＯＣＵＳ」が反転表示される。
【００５５】
機能操作スイッチＳＷ１に設定されている操作機能に関する確認情報の表示後、処理はステップＳ１３（図３に示す）に移行する。
【００５６】
これに対し、機能操作スイッチＳＷ１がオフであると（ステップＳ３２）、現在機能操作スイッチＳＷ１に設定されている操作機能の判別がＫＥＹＳＥＬの値に基づき行われ、その操作機能の実行は停止状態に保持される（ステップＳ３６）。
【００５７】
次いで、表示選択スイッチＳＷ３がオンであるか否かの判定が行われ（ステップＳ３７）、表示選択スイッチＳＷ３がオフであれば、処理はステップＳ１３（図３に示す）に移行する。
【００５８】
表示選択スイッチＳＷ３がオンであれば（ステップＳ３７）、機能操作スイッチＳＷ１に設定されている操作機能に関する確認情報が生成され、その確認情報は機能操作スイッチＳＷ１のオフ状態に対応した表示形態でファインダ部３の表示画面に表示される（ステップＳ３８）。
【００５９】
この機能操作スイッチＳＷ１のオフ状態に対応した表示形態としては、通常表示が行われる。例えば、機能操作スイッチＳＷ１に設定されている操作機能が手動焦点合せ（Ｍ．ＦＯＣＵＳ）であると、図６（ｂ）に示すように、ファインダ部３の表示画面には機能操作スイッチＳＷ１に設定された操作機能に関する確認情報として「ＳＷ１：Ｍ．ＦＯＣＵＳ」が通常表示される。
【００６０】
機能操作スイッチＳＷ１に設定されている操作機能に関する確認情報の表示後、処理はステップＳ１３（図３に示す）に移行する。
【００６１】
以上により、通常時表示処理によって、機能操作スイッチＳＷ１に設定されている操作機能に関する確認情報を操作機能スイッチＳＷ１の操作状態（オン、オフ）に応じて表示形態を変えながらファインダ部３の表示画面に表示するから、機能操作スイッチＳＷ１に設定された操作機能を事前にかつ容易に確認することができるとともに、機能操作スイッチＳＷ１に設定された操作機能の実行状態を容易に確認することができる。
【００６２】
また、表示選択スイッチＳＷ３がオン、オフに応じて通常時表示処理の実行が制御されるから、撮影者の意図によって機能操作スイッチＳＷ１に設定された操作機能に関する確認情報の表示の有無を選択することができる。
【００６３】
さらに、電源オンに伴う初期時表示処理によって、機能操作スイッチＳＷ１に設定された操作機能に関する確認情報を所定時間（例えば数秒間）ファインダ部３の表示画面に表示するから、撮影開始前に、現在機能操作スイッチＳＷ１に設定された操作機能を確認することができ、現在機能操作スイッチＳＷ１に設定された操作機能の誤認識による誤操作を未然に防止することができる。
【００６４】
なお、本実施の形態では、機能操作スイッチＳＷ１に設定された操作機能がである場合の

表示例について説明したが、機能操作スイッチＳＷ１に設定される他の操作機能に関する確認情報も、手動焦点合せ（Ｍ．ＦＯＣＵＳ）に関する確認情報と同様に表示される。

【００６５】

また、本実施例の形態では、手動焦点合せ（Ｍ．ＦＯＣＵＳ）、シャッタ（ＳＨＵＴＴＥＲ）、フェードイン／アウト（ＦＡＤＥ）、バックライトコントロール（ＢＬＣ）、再生（ＰＬＡＹ）、早送り（ＦＦ）、巻戻し（ＲＥＷ）、停止（ＳＴＯＰ）、録画（ＲＥＣ）の各操作機能を機能操作スイッチＳＷ１に設定可能な操作機能としているが、これらの操作機能に限定されることなく他の操作機能を機能操作スイッチＳＷ１に設定可能な操作機能として設定することができることは言うまでもない。

【００６６】

さらに、機能操作スイッチＳＷ１に設定されている操作機能に関する確認情報の表示形態を操作機能スイッチＳＷ１の操作状態（オン、オフ）に応じて通常表示、反転表示に切り換えているが、これに代えて、操作機能スイッチＳＷ１の操作状態（オン、オフ）に応じて確認情報の文字種を変える方法、確認情報の内容を変える方法などを用いることもできる。

【００６７】

【発明の効果】

請求項１、３から９に係る発明によれば、使用者が所定の操作スイッチに設定されている機能を変更してしまう前に、当該操作スイッチに設定されている機能を使用者に通知することができる。

また、請求項２、３から９に係る発明によれば、使用者が所定の操作スイッチに設定されている機能を実行してしまう前に、当該操作スイッチに設定されている機能を使用者に通知することができる。

【図面の簡単な説明】

【図１】本発明のカメラの実施の一形態を構成するビデオカメラの構成を示すブロック図である。

【図２】図１のビデオカメラにおける設定スイッチＳＷ２の押下操作回数の累積値（ＫＥＹＳＥＬ）と操作機能との対応関係を示す図である。

【図３】図１のビデオカメラにおける初期時表示処理および機能設定処理を示すフローチャートである。

【図４】図３の初期時表示処理を示すフローチャートである。

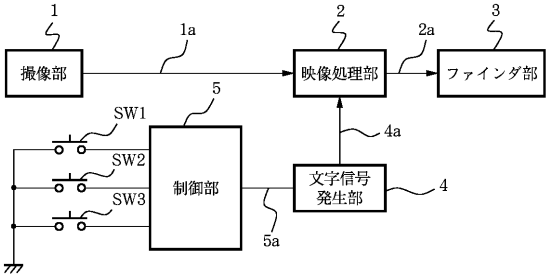
【図５】図３の通常時表示処理を含む機能設定処理を示すフローチャートである。

【図６】図１のビデオカメラのファインダ部３における機能操作スイッチＳＷ１に設定された操作機能に関する確認情報の表示例を示す図である。

【符号の説明】

１　撮像部
２　映像処理部
３　ファインダ部
４　文字信号発生部
５　制御部
ＳＷ１　機能操作スイッチ
ＳＷ２　設定スイッチ
ＳＷ３　表示選択スイッチ

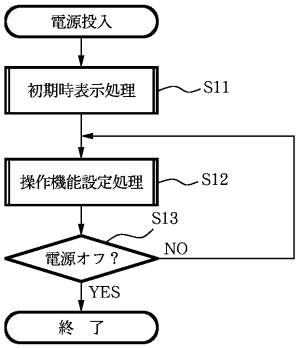
【図１】



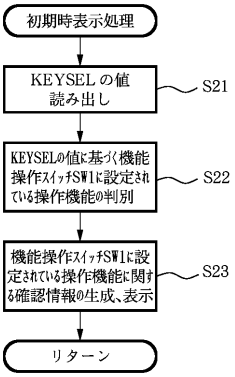
【図２】

KEYSELの値	設定操作機能
0	M.FOCUS
1	SHUTTER
2	FADE
3	BLC
4	PLAY
5	FF
6	REW
7	STOP
8	REC

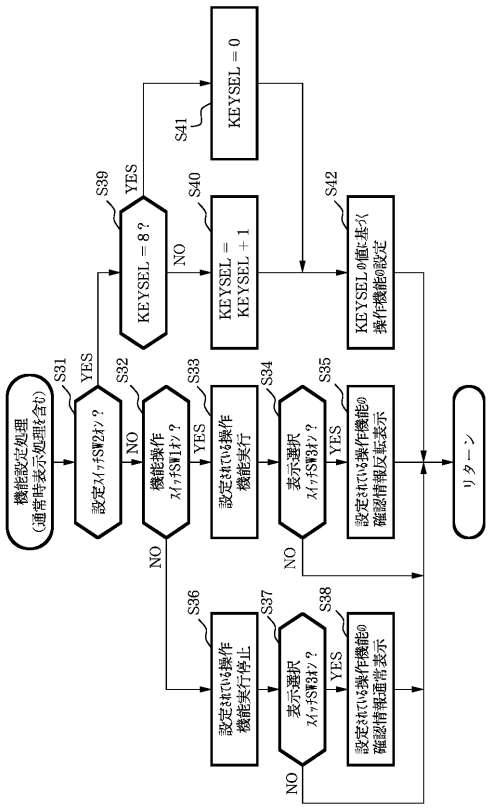
【図３】



【図４】

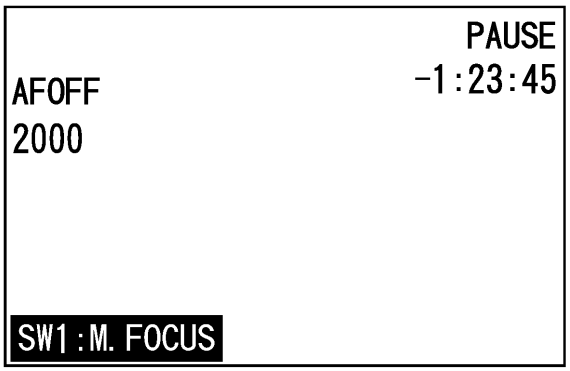


【図５】

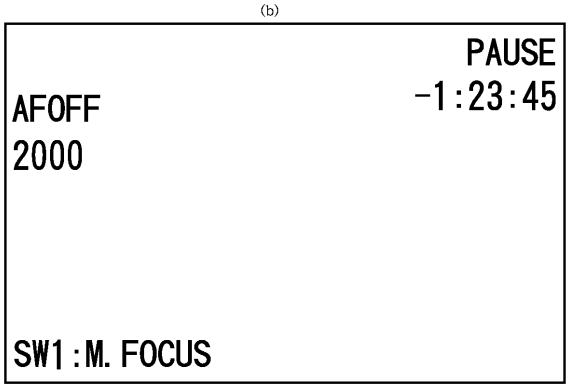


【図６】

(a)



(b)



フロントページの続き

(72)発明者　松本　睦
東京都大田区下丸子３丁目３０番２号　キヤノン株式会社内

審査官　森　竜介

(56)参考文献　特開平０４－３４２３７７（ＪＰ，Ａ）
特開平０５－３００４１８（ＪＰ，Ａ）
特開平０６－１２１２１９（ＪＰ，Ａ）
特開平０５－３０８５４８（ＪＰ，Ａ）
特開昭６３－１７３４７８（ＪＰ，Ａ）
実開平０５－０３９０８１（ＪＰ，Ｕ）
特開平０６－１４１２２７（ＪＰ，Ａ）
実開昭６３－１５２３７３（ＪＰ，Ｕ）
特開昭６３－１７３４７８（ＪＰ，Ａ）
特開平０４－０９８３１４（ＪＰ，Ａ）
特開昭６３－１５３６１８（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
G03B 17/18
G03B 17/02